

環境経営方針

基本理念

2015年に持続可能な開発目標（SDGs）が国連サミットで採択されたことを受け、国では「2050カーボンニュートラル宣言」を行い、その実現に向け、「地球温暖化対策に関する法律」や「地球温暖化対策計画」の見直しを行い、脱炭素社会の構築に向けた取組みを加速化させています。

本県においても、新たに「富山県カーボンニュートラル戦略」（2023年3月）を策定し、県民・事業者と連携して、地域を挙げた脱炭素化社会に向けた取組みを推進することとしています。

こうした中、当センターは、環境の調査・監視・研究を担う中核機関として、環境関係法令等の遵守はもとより、県民・事業者の手本となるよう、継続的な環境改善に率先して取り組めます。

基本方針

(1) 省エネ・省資源の推進

- ・ 富山県カーボンニュートラル戦略における県庁の率先行動の目標達成に向けた取組みを推進します。
- ・ エネルギーや資源の使用量を定量的に把握・可視化し、実効的な削減に繋がります。
- ・ 全職員が省エネ・省資源を意識し、業務の改善に取り組めます。
- ・ 施設や設備の更新などの機会をとらえ、省エネ型のものを優先して導入するよう努めます。
- ・ 当センターの業務を点検し、ITの活用によるペーパーレス化やオンライン化をさらに進めます。
- ・ グリーン購入を徹底します。
- ・ 廃棄物の3Rを率先して拡大するための取組みを進めます。

(2) 県民への啓発、事業者の自主的な環境保全活動の促進

- ・ 気候変動適応センターとして、県民・事業者への気候変動適応に関する情報提供や適応の取組みを支援します。
- ・ 環境楽習室エコ・ラボとやまを活用し、環境教育を積極的に進めます。

この環境経営方針、活動実績等は、職場内に掲示して全職員に周知するとともに、ウェブページへの掲載等を通じて広く公表します。

〈本方針と関連するSDGsの取組み〉



2023年4月1日

富山県環境科学センター

所長

中山 純一